

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年10月27日（水）

2 確認箇所

- ・増設・高性能多核種除去設備サンプルタンク周辺
- ・物揚場排水路（簡易放射線検知器設置箇所周辺）

3 確認項目

- （1）高性能多核種除去設備サンプルタンクの水の移送状況
- （2）物揚場排水路の清掃作業の状況

4 確認結果の概要

- （1）高性能多核種除去設備サンプルタンクの水の移送状況について

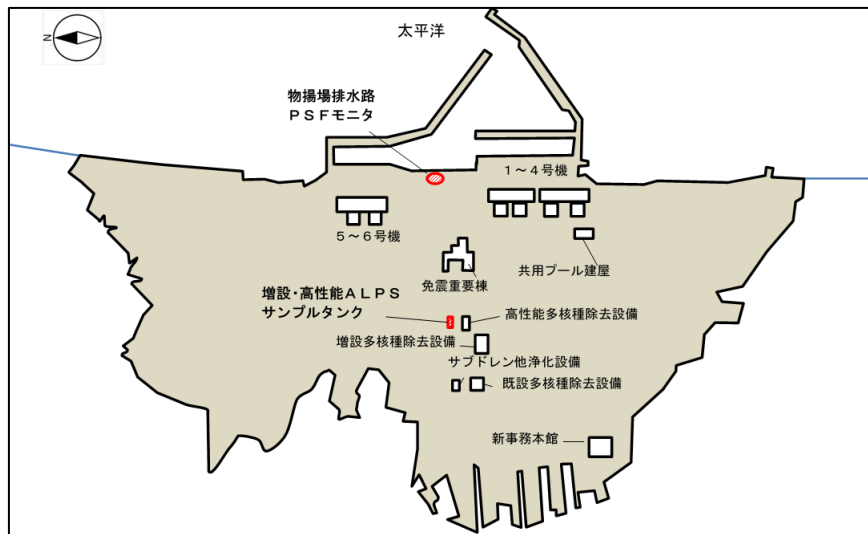
多核種除去設備（以下「ALPS」という。）のうち、待機状態にある高性能ALPSについては、再稼働に向けての準備作業として、昨日（10月26日）から、高性能ALPSサンプルタンクに貯留されているALPS処理水等※を貯留タンクに移送する作業が行われていることから状況を確認した。（図1）

- ・高性能ALPSサンプルタンクは3基あり、増設ALPSサンプルタンク（3基）と同一の堰内に設置されている。（写真1）
- ・確認した範囲では、高性能ALPSサンプルタンク、移送ポンプ及び移送ポンプ建屋周辺の移送配管に漏えい等の異常は見られなかった。

（写真2）

- ・東京電力によると、水の移送は10月29日頃までに終わる見込みとのことである。

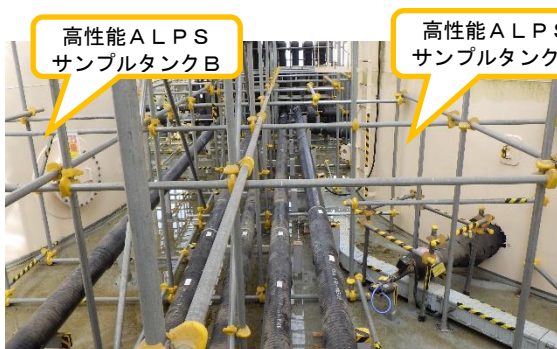
※ALPS処理水等：東京電力では、ALPS等によりトリチウム以外の放射性物質について安全に関する規制基準値を確実に下回るまで浄化した水（トリチウムを除く告示濃度比総和1未満）を「ALPS処理水」、ALPS等で浄化処理した水のうち、安全に関する規制基準を満たしていない水（トリチウムを除く告示濃度比総和1以上）を「処理途上水」、二つを併せて示す場合は「ALPS処理水等」と表記している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
増設・高性能ALPSサンプルタンク外観 (南西側から撮影)
※全6基中3基が高性能ALPSサンプルタンク



(写真2-1)
高性能ALPSサンプルタンクの状況 (堰内を東側から撮影)



(写真 2 - 2)

高性能ALPS移送ポンプ（サンプルタンク→貯留タンク）の状況
（ポンプ室内を西側から撮影）



(写真 2 - 3)

高性能ALPS移送配管（サンプルタンク→貯留タンク）の状況
（ポンプ室東側を北側から撮影）

(2) 物揚場排水路の清掃作業の状況について

物揚場排水路の清掃作業については、10月5日午前10時08分頃に排水路に設置されている簡易放射線検知器（以下「PSFモニタ」という。）において、排水路の清掃作業に起因すると推定される一時的な指示値の上昇が発生し、再発防止対策が検討されていたが、10月25日に清掃作業が再開されたことから状況を確認した。（図1）（前回確認：[10月5日](#)）

- ・現場確認時（11時15分頃）には作業は行われていなかったが、排水路への進入路が区画されており、PSFモニタ揚水ポンプ周辺の排水路の堆積土砂等が除去されていた。（写真3）
- ・排水路付近には、排水路清掃時の土砂流出防止用の資材等が仮置きされていた。（写真4）
- ・新事務本館においてPSFモニタの指示値の推移を確認したところ、清掃作業に伴う放射能濃度の上昇は見られなかった。

物揚場排水路



(写真3-1)
排水路進入路の区画の状況
(北側から撮影)



(写真3-2)
物揚場排水路の清掃状況
(下流側から撮影)
※堆積物が除去されて水路底盤の
コンクリート面が確認できた。



(写真4-1)
ゼオライトが入ったフレキシブルコ
ンテナの仮置状況 (南側から撮影)



(写真4-2)
土砂流出防止用資材等の仮置状況
(北東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。